

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名： 舞鶴市

1. 平成26年度 行財政改革推進計画について【総括表】

計画の概要等	背景	人口減少及び少子高齢化の進行により、福祉・医療・保健サービスの需要をはじめとする公共サービスへのニーズが増大・多様化する一方で、公的財源を負担する年齢層が少数となっている。また、地域経済の低迷等の影響を受け、税収は低調に推移することが見込まれるなど、本市の行財政を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、今後、行財政両面からさらなる改革を推進し、財源を生み出していくことが求められている。
	必要性	健全な財政運営を維持するためには、政策と施策・事業の整合性に留意し、“最少の投資で最大の効果を上げる”ことを目指して、事務事業のあり方の見直しや組織風土の改革に引き続き取り組む必要がある。
	概要	本年度は、「新たな舞鶴市総合計画」における前期実行計画の最終年度であり、本市の行財政改革の基礎を仕上げる年度と位置付け、債権管理の適正化を図るための新たな組織体制の構築及び未収金の削減に向けた取組を本格的にスタートさせる。併せて、使用料・手数料について、サービスとコストの実態を再点検し、適正な受益者負担のあり方の抜本的な見直しについて検討するとともに、「公共施設再生基本計画」に基づく公共施設の多機能化、複合化、長寿命化等の再生事業の実施に向けた「舞鶴市公共施設再生実施計画」を策定し、公共施設の質・サービス・利便性のさらなる向上を目指し、公共施設再生のための財政的取組を推進する。さらに、市役所の組織力及び市民サービスの向上に資する新たな施策として、管理職を対象とする「人事評価制度」を施行導入する。
	効果	本計画の推進により、様々な行財政改革の取り組みを一層拡大することにより、財政負担を軽減し、持続的・安定的な財政運営の構築を図る。

平成26年度行財政改革推進計画に伴う事業実績による行革効果について

事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	行革効果（単位：人・千円等）
小規模市町村支援				
広域連携事業支援	中丹文化芸術祭負担金	<p>◆開催事業（全8事業）</p> <p>①踊りとダンスの祭典（7/20）、②ジュニア文化祭（7/27）、③コーラスフェア2014（9/23）、④中丹写真展（9/27～28）、⑤中丹和太鼓フェスティバル（10/26）、⑥短歌・俳句・川柳公募'14（11/24）、⑦詩吟と舞（1/24）、⑧軽音楽フェスティバル（2/8）</p>	<p>◆出演者及び出品者数：2,240人</p> <p>◆入場者数：4,209人</p>	7,225千円

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

舞鶴市

2. 平成26年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目		
広域連携事業支援		中丹文化芸術祭負担金		
事業着手前				
課題・現状	<p>中丹文化芸術祭は、市町のエリアを超えた中丹地域を対象に、アマチュアを中心とした各種の創造的な文化芸術のフェスティバルであり、今年度で28回目を迎える。本芸術祭は、中丹3市の各行政・各文化団体等が広域的に連携・協力して実施しており、数年前から丹後文化芸術祭や南丹地域との交流も図っている。こうした地道な取組の結果、中丹地域においても団体・個人による文化芸術活動の進歩・向上が進んできている状況にある。</p> <p>また、中丹3市をはじめ、各教育委員会や文化事業団等から構成される同芸術祭実行委員会では、四半世紀を超えて継続する当該芸術祭をますます活力あるものとして発展させるため、出演団体の掘り起こしを精力的に行うとともに、各事業それぞれに創意工夫を施し、企画・運営に取り組んでいる。</p>			
事業概要	<p>中丹地域における唯一の広域文化芸術事業として、各種の文化芸術フェスティバルを開催することにより、平成23年度の国民文化祭京都開催を契機に気運醸成を図るとともに、育まれた活力を継続・発展させるため、広域的な交流を展開し、地域における文化活動の活性化と豊かな地域社会の発展を目指す。</p> <p>また、地域住民における参加型事業として、各団体・個人の活動が広域かつ多岐にわたり様々な交流を重ねる中で、その創造的な文化芸術活動の進歩・向上に資する。</p>			
期待される事業効果等	<p>中丹3市が連携・協力して実施することにより、各市の多様な文化芸術活動の担い手の参画を可能にし、各団体・個人が広域かつ多岐にわたり様々な交流を重ねるとともに、その文化芸術的な進歩や参加住民のモチベーション向上など大きな効果が期待される。</p> <p>また、行政をはじめ各団体・組織が、広域的に広報活動を展開することにより、観客動員数の増加に繋がる。</p>			
事業実績				
取組状況	<p>●開催事業(全8事業) ①踊りとダンスの祭典(7/20)、②ジュニア文化祭(7/27)、③コーラスフェア2014(9/23)、④中丹写真展(9/27～28)、⑤中丹和太鼓フェスティバル(10/26)、⑥短歌・俳句・川柳公募'14(11/24)、⑦詩吟と舞(1/24)、⑧軽音楽フェスティバル(2/8)</p>			
主な実績数値 (出来高数値等)	●出演者及び出品者数	2,240名	●入場者数	4,209名
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)	中丹3市が連携・協力することで、参加市民のモチベーション向上を図ることができた。	

行革効果

行革効果の考え方	3市が連携して事業を展開することにより、観客動員数の増加・共通経費の削減を図ることができる。								
年度	H23	H24	H25	H26					
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	7,886	7,367	8,971	7,875					
本事業の実績額(b)	1,800	1,800	800	650					
行革効果(a)-(b)	6,086	5,567	8,171	7,225					